



の通信



自然と歴史の大発見

宮崎県総合博物館

Miyazaki Prefectural Museum of Nature and History

発行日/2011年7月1日

発行/宮崎県総合博物館 〒880-0053 宮崎市神宮2丁目4番4号 TEL(0985)24-2071
http://www.miyazaki-archive.jp/museum/ E-mail:hakubutsukan@pref.miyazaki.lg.jp FAX(0985)24-2199-



2011年 **7/16**日(土)~**9/4**日(日)

開館時間:午前9時~午後5時[入場は午後4時30分まで]

※7月16日(土)は午前10時からの入場

※8月27日(土)・28日(日)は午後9時までの開館[入場は午後8時30分まで]

観覧料:大人800(600)円、小中高生500(300)円

※()は20名以上の団体及び前売り料金[前売りは7月15日(金)まで]

主催:宮崎県総合博物館、宮崎日日新聞社、MRT 宮崎放送

問合せ:宮崎県総合博物館 〒880-0053 宮崎市神宮2-4-4 TEL(0985)24-2071



イメージキャラクター
カカトアルキの力力太

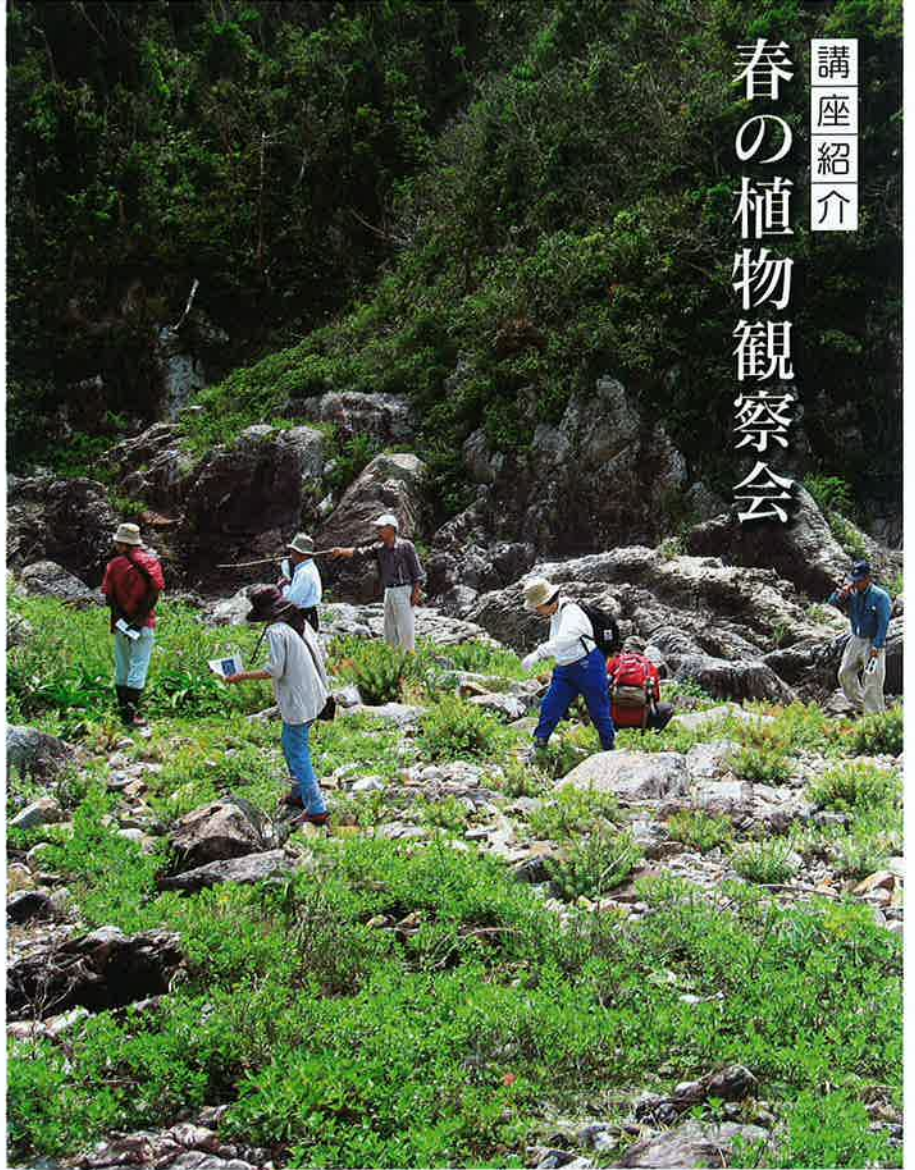
地球上でもっとも多様性に富み、繁栄した生物である「昆虫」。いま、「昆虫」の持つ様々な力=[昆虫パワー]に、各界の研究者から注目が集まっています。

今回の展示会の目玉は、何と言っても日本最大のチョウ・オオゴマダラとその黄金の蛹の生体展示です。また、2002年に発見された新目のカカトアルキの標本を九州で初公開します。他にも、1000種類を超える昆虫の標本展示や、飛び出す昆虫3D映像、昆虫ロボットの展示など盛りだくさんです。見るだけでなく、体験・体感しながら楽しめる展示会場になっています。

春の植物観察会

博物館では春の植物観察会を延岡市島浦で行いました。当初は、5月28日(土)を予定していましたが、台風や雨の影響で一週間延期し、6月4日(土)に実施しました。

島浦島は延岡市の浦城港から高速艇で約10分のところに位置する島です。面積は約2.8km²で島の周囲は15.5kmあり、県内では1番大きい島です。島内は遠見場山(186m)を中心に照葉樹林おおで覆われています。複雑な海岸線には、一部、塩性湿地(海水が入る湿地)がみられます。今回の観察会は、この塩性湿地にみられる植物を中心に観察しました。塩性湿地は宮崎県でも数が少なく、その湿地に見られる植物はとても貴重です。参加者は普段目にするののない植物を写真に収めたり、素晴らしい景観とともに記念撮影をしたり、島浦の自然を満喫している様子でした。(福松)



幸島のサル

宮崎の自然情報



串間市の東部にある石波海岸の沖合いに、日本のサル学発祥の地である幸島があります。ニホンザルの生息地として天然記念物に指定されているこの島は周囲約3.5km、黒潮の影響で温暖な気候であり、亜熱帯植物が茂っています。ここには約100頭のニホンザルが生息しています。

1953年、三戸サツエ氏により、1歳のメスザルがイモを洗って食べているのが確認されました。イモ洗いの行動は他のサルにも広がっていきました。サルの行動が他の個体に広がり受け継がれていったことで「文化的行動」とよばれ、世界的に注目されるようになりました。幸島のサルの行動は、現在も京都大学により研究が続けられています。

幸島には渡し舟を使って渡ることができます。運がよければ石波海岸に設置してある双眼鏡を使ってサルの姿を確認することができます。(福島)

宗麟原供養塔

歴史展示室紹介



歴史展示室に、2mを越す高さの塔が立っています。これは宗麟原供養塔(レプリカ)です。実物は川南町にあり、国指定史跡となっています。

戦国時代の1578(天正6)年、日向国の支配を巡り、薩摩の島津氏と豊後の大友氏が戦いました。島津氏家臣の山田新介は、高城(現木城町)に籠城し、大友氏と向かい合いました。この戦いは、島津氏の勝利で終わりましたが、両陣営の犠牲者は、一万人ともいわれています。

山田新介は両陣営の犠牲者を供養するために、六地藏塔を建立しました(1583年)。この六地藏塔が宗麟原供養塔です。(佐藤)



収蔵資料紹介

中村コレクション

平成20年3月に、日之影町の故中村憲治氏が収集されていた竹細工職人(現代の名工)廣島一夫氏の竹製品53点が寄贈されました。

廣島一夫氏は、竹細工職人でありながら、その製品はアメリカのスミソニアンやイギリスの大英博物館にも収蔵されています。中村氏はスミソニアンに廣島氏の竹細工を収蔵するときに、同じ製品を2点作ってもらい、1点はスミソニアンに、もう1点は中村氏の手元に残しました。その製品が寄贈されたのです。なんと、スミソニアンに収蔵されたのと同じものが本館にあるのです。

廣島氏は高齢で竹細工はしておられません。県内にも、竹細工職人の数はもう数えるほどしか残っていません。かつて人々の生活に使われ、自然環境にも優しく、人々の知恵が詰まった道具、人々の生活が便利になるとともに、そうした道具の姿が消えつつあります。(小山)



▲ 鶴戸神宮のコンクリーション

恐竜の卵化石
(上:中国産 下:アルゼンチン産)

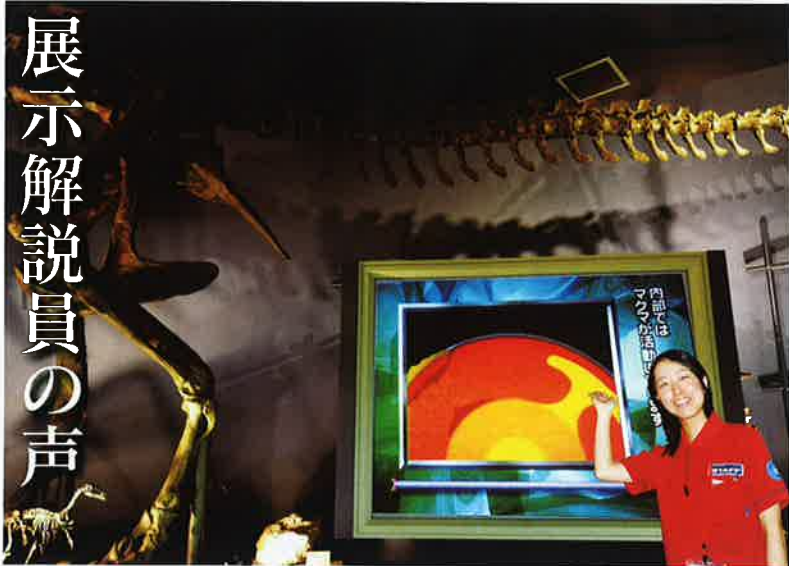


「川原ではなく地層に埋まっている丸い岩石を見つけた。恐竜の卵ではないか?」という問い合わせがときどきあります。残念ながらこれまで持ち込まれたものはすべて硬い岩石のボールでした。青島や鶴戸神宮など観光地をはじめ県内各地で地層中に岩石のボールを見ることができます。

砂岩や泥岩などの地層にできるかたいボール状のものをコンクリーションといいます。コンクリーションはノジュール(団塊)ともいい、地層中で炭酸カルシウムなどが化学的に集まってできるものと考えられています。中心に核のように化石が入っていることもあります。周囲と全く同じ岩石がかたいボールになっているところも多くあります。コンクリーションの作り方には、まだまだ謎がいっぱいです。(赤崎)

恐竜の卵を見つけた? 利用者からの問合せ

展示解説員の声



博物館には3つのシアターがあります。自然史展示室・照葉樹林シアターでは「夏の森の一日」と「命をはぐくむ照葉樹林」を、地球シアターでは「地球と宮崎の生い立ち」を、民俗展示室・神楽シアターでは「宮崎の神楽」を放映しています。その中でも「命をはぐくむ照葉樹林」は今年、新たに加わったシアターです。冬から秋にかけて、その都度違った表情を見せてくれる照葉樹林とそこに生きる生き物たちの映像を見ることが出来ます。
是非、この夏3つのシアターを制覇^{せいはい}してみてください！お待ちしております。（森本）

お知らせ

◆臨時休館のお知らせ

通常は毎週火曜日が休館日ですが、夏休み期間中は休館日はありません。9月5日(月)から9月8日(木)までは特別整理期間で休館となります。

◆ふしぎ! 昆虫パワーの関連イベント案内

◎参加は無料です。ただし、当日の入場券が必要になります。

■講演会:「すごいぞ! 虫の世界」

開催日: 7月31日(日)

会場: 総合博物館 研修室1

講師: 小岩屋 敏氏 (日本昆虫協会会長)

時間: 13:30~14:30

対象: 小・中・高・一般

*申込みは電話のみです。7月1日(金)から受付開始(先着50名)

昆虫ゲームも
あるよ!



■講演会:「南方から侵入した虫たち」

開催日: 8月6日(土)

会場: 総合博物館 研修室1

講師: 新谷 喜紀氏 (南九州大学准教授)

時間: 13:30~14:30

対象: 中・高・一般

*申込みは電話のみです。7月8日(金)から受付開始(先着50名)



■講演会:「クモの糸の不思議」

開催日: 8月20日(土)

会場: 総合博物館 研修室1

講師: 大崎 茂芳氏 (奈良県立医科大学)

時間: 13:30~14:30

対象: 幼・小・中・高・一般



*当日12:00より
整理券配布しま
す。(先着50名)

◆きらめく水晶と鉱物展の案内

平成23年10月8日(土)~12月4日(日)

水晶やトパーズなどの鉱物の美しい色彩と自然の作りだした結晶の造形美について、自然科学の視点だけでなく芸術の視点からも鑑賞できる展示会です。(観覧料:有料)



■講座案内

7月22日(金)

昆虫の標本をつくろう

7月23日(土)

植物の標本をつくろう

7月24日(日)

岩石の標本をつくろう

7月31日(日)

川原の石の見分け方

8月7日(日)

組むも製作体験講座

8月21日(日)

採集作品の名前を調べる会

9月11日(日)

干潟の生きもの観察会

9月18日(日)

西南戦争の考古学

10月8日(土)

拓本の取り方と実践

10月22日(土)

幸島サル観察会

10月30日(日)

水晶と鉱物を観察しよう

11月3日(木)

神宮の森の史跡巡り

11月20日(日)

神宮の森でドングリを探そう

12月3日(土)

佐土原人形絵付け体験